

# 日本産同翅目の新屬及び新種に

就いて (II)

(第一四・一五圖版)

加藤 正 世

Notes on Japanese Homoptera, with descriptions of one

new genus and some new species. (Plates 14 and 15)

By MASAYO KATO

ひめまじら科 Family TYPHLOCYBIDAE

21 *Homa subodorosata* sp. nov. ヘマカヅキンヒメヨコゴイ (Plate 15, fig. 26)

(♀) 頭部は半球狀、複眼は大形にして暗色、頭頂は紅色、頭長は後縁に於ける複眼間の幅よりも僅かに長し。前胸背は頭長よりも僅かに短かく、幅は頭部よりも僅かに狭し。

稜状部は前胸背と殆ど等長、前縁角は略々130°頂角は約120°の三角形を呈す。一様にクリーム色なり。

前翅は甚だ淡き黄褐色、半透明、翅底より前縁の約1/3の點に達する幅廣き一紋、内片の外方1/4、内片の末端に存する一

本の幅廣き横帯等は紅色なり。

額及び額片は一樣に紅色、後者の中央より稍々後方に片寄りて一個の黒紋を裝ふ。觸角、胸下、腹部、肢等は一樣に淡黄色なり。

Length including tegmina 4mm.

Loc. Takesaki, Formosa.

Type No. 233.

【附記】*Homa* 屬は *Empoasca* 屬に酷似すれども頭長が前胸背よりも長きことに依りて區別す。印度より *H. insignis* Distant 臺灣より *H. elongata* Kato ッキンヒメヨコバイ並に此處に記載せるもの、都合三種が世界より知られ居るに過ぎず。

### おほやうばこ科 Family CICADELLIDAE

22 *Cicadella rubropunctata* sp. nov. ヲニホシオホヨコバイ (Plate 15, fig. 23)

(♀) 體及び翅は光澤なき黒色。

頭部は殆ど半圓形に突出し、長さは略々複眼間の幅の半分に等しく、複眼と單眼との間及び後半部の中央は凹陷す。前縁の中央及び複眼の直前に存する大なる二紋並に後頭部のV形を爲せる二紋は赤色なり。單眼は淡黄褐色にして、複眼の前縁を結ぶ直線よりも後方にあり、單眼の間隔は複眼よりそれに隣れる單眼に至る距離よりも大なり。

前胸背は頭長よりも少しく長く、幅は略々相等し。後縁に近く圓形の赤色紋四個を横列す。その内中央の一対は大なり。稜状部は前胸背と略々等長にして、前縁角は40°。頂角は75°の角度を爲す。後端に近くV形の凹陷を具へ、その前方に赤色のVを呈する二紋を裝ふ。

前翅黒色なれども幾分褐色を帯び、内片及び内片に接して外片上に二本の太き赤色條を斜走す。又翅端室の内方に不規則なる橙赤紋あり。

體下及び肢は淡黄白色、額の中央は大部分暗色にして、額頂に三個の赤紋を「小」字形に裝ひ、額片に接して淡赤褐色の一紋を具ふ。中胸板は黒色、腹部は暗色、生殖板は淡黄白色なり。

Length including tegmina 10.5 mm.

Loc. Mt. Taiko, Formosa.

Type No. 234.

【附記】臺灣南部の山地に發見さるゝも稀なり。近似の種他に二種程あるも何れも山地に産し、クハズイモ其の他潤葉の草本に寄生す。

23 *Bundera flavocapitata* sp. nov. キガシラオホヨロビイ (Plate 15, fig. 24)

(♀) 體に多少光澤あり。頭部は前胸背よりも幅狭く、頂角は約110°に近し。長さは後縁に於ける複眼間の幅に等しく側縁と中央とに隆起線を裝ふ。その側縁のものは複眼近くに於いて二又す。複眼は暗黄色、頭頂は淡黄褐色、中央の大紋及び前縁(細く)は黒色。單眼は淡黄褐色にして、二又せる側縁の隆起線の中に存す。

前胸背の長さは頭部よりも少しく長く、後縁は中央に於いて少しく内方に「へ」字形を爲し刻らる。前方 $1\frac{1}{3}$ 及び後縁(細く)は汚黄色、複眼に接して黒色の一紋あり、後方 $\frac{2}{3}$ は暗黒色を呈す。

稜狀部は頭長と略長さ等しく、側縁角は33°、頂角は87°あり。

前翅は汚黄色、前縁並に後縁は暗色、翅底より翅端の中央に向けて太き一本の暗色條を走らす。これは外片の後方に於て融合す。翅端は多少色淡し。

體下並びに肢は淡黄褐色、前脛節並にその跗節、後脛節及びその跗節は暗色、但し後脛節の刺は淡黄褐色なり。

額は中央に一本の細き隆起線を縦走し、額頂の中央の大なる一紋、後端近くの両側にある楕圓形の一紋等は黑色なり。腹部は黑色、生殖板は汚黄色なり。

Length including tegmina 9mm.

Loc. Mt. Noko, Formosa.

Type No. 235.

24 *Onitica flavimacula* sp. nov. トクモンナヌキヨロビイ (Plate 15, fig. 25)

(♂) 體は黑色、多少光澤あり。

頭頂は平坦にして光澤を缺き、中央に一本、頂點より複眼の内側に沿ふ弧状の一本、都合三本の隆起線を具ふ。頭長は後縁に於ける複眼間の幅より少しく長し。頂角は略々 $70^{\circ}$ に近し。複眼は暗色、その前方に一個の圓き黄褐紋を具ふ。單眼は複眼の前縁を結ぶ假想線と頭頂の後縁との中間にあり、その間隔は複眼よりそれに隣れる單眼に至る距離よりも狭し。

前胸背は頭長と略々等しき長さを有し、多數の横皺を具ふ。

稜狀部は前胸背と殆ど等長、前縁角は $48^{\circ}$ 、頂角は約 $57^{\circ}$ あり、その後端は黄色なり。

前翅は黑色、外半部は黒褐色、内片の末端並にそれに近き内側に灰白色の一紋を裝ふ。前縁に二個の大なる橙黄紋を裝ふ。外側のものは翅端に達せず、外方に近く一本の暗色線横走す。

體下及び肢は淡橙黄色、額、額片、頬並に前胸側板は黑色なり。

Length including tegmina 17mm.

Zoc. Mt. Taihei, Formosa.

ネジヨリばう科 Family ACOCEPHALIDAE.

25 *Drabescus abrotus* sp. nov. ハグロフチミヤクヨロビ (Plate 14, fig. 17)

(♂) 體は黒色、光澤あり。

頭長は複眼間の幅の約 $\frac{1}{2}$ 。前縁に接して一個の横長き黃褐紋を装ふ。

前胸背は頭長の約四倍、多數の横皺あり。

稜状部は前胸背よりも僅かに長し。前縁角は約51。頂角は111。あり。

腹背は黒色にして光澤を缺く。

前翅は暗黒色、光澤あり。翅脈は黒褐色、基半部に於ける間室は地色淡色半透明にして、暗褐紋を砂目狀に装ふ。各翅端室の底部に沿ふて淡色紋を装ふ。これは第三翅端室に於て最も幅廣し。

後翅は暗色、外縁は濃色なり。

體下は光澤ある黒褐色、額の兩側の細き縦紋、肢等は暗褐色、前脛節の外側は扁平に擴張す。

Length excluding tegmina 8mm, expansion tegmina 9mm.

Loc. Suisha, Formosa.

Type No. 237.

ネジヨリばう科 Family JASSIDAE.

26 *Athyssanus latifasciatus* sp. nov. エロオコノトヨロビ (Plate 15, fig. 29)

(♂) 體は黄褐色、頭部の前縁は弧狀に突出し、その長さは後縁の半分に等し。複眼は暗色、頭頂の中央に横走する一本の白條あり、その後側は淡褐色を帶ぶ。中央の後半部に細き褐色の縦條あり。

前胸背は頭長よりも僅かに長く、所々褐色を帶ぶ。

稜狀部は頭長と殆どその長さ等しく、前縁角は $60^{\circ}$ 、頂角は直角に等し。

前翅は短かく、翅端より腹部の末節を露出す。内片の基部近く、内縁に並行して一個の暗褐紋を具へ、中央に幅廣き不明瞭の暗色横帯を裝ふ。翅脈は大部分白色なり。

體下並に肢は淡暗褐色、額上に並行する弧狀の暗色横線あり。

Length tip to abdomen 6mm.

Loc. Mt. Fuji, Honshu.

Type No. 238.

27 *Sabima rostrata* sp. nov. テングヨロイ (Plate 15, fig. 22)

(♂) 頭部及び胸部は黒褐色、淡黄褐色の顆粒を密布す。

頭部は前胸背よりも幅狭く、恰もテングアワフキ屬 (*Philyra* spp.) の如く前方に突出す。その長さは頭部の幅(複眼を含む)の二倍半に等しく、後縁の幅は複眼の幅と略々相等し。頭頂は水平にして、頂點より略々中央に達する一本の細き黄褐條を縦走す。

前胸背は頭長の約 $1/3$ に等しく、顆粒は頭頂に於けるものよりも大なり。

稜狀部は前胸背よりも長く、側縁角は $65^{\circ}$ 、頂角は $80^{\circ}$ に近し。顆粒は前胸背のものよりも更に大なり。

前翅は革質にして厚く、淡暗褐色、翅脈は黒褐色にして所々に黄褐紋を具へ、間室に淡灰黄色の低く大なる顆粒突起を

密布す。

體下は黒褐色、額は側面より見る時弧狀に大きく割らる。額の後半部は多少淡色にして橙黄色の小點を裝ふ。頬片は暗黄褐色なり。

Length including tegmina 10mm.

Loc. Mt. Taiko, Formosa.

Type No. 239.

つばきこもりむし科 Family BYTHOSCOPIIDAE

28 *Balochia flavocapitata* sp. nov. キガシラツキンヨコムシ (Plate 15, fig. 21)

(♀) 頭部は淡黄褐色、複眼は暗色、前胸背は淡黄色、側縁より後縁にかけて淡褐色、稜狀部は一樣に淡褐色にして、前縁角は $\square$ 。頂角は $\square$ あり、前胸背と殆ど等長なり。

前翅は淡褐色光澤あり。内片は一樣に淡黄色、前縁は幅広く淡黄褐色なり。

體下及び肢は淡黄白色、複眼の側縁より頬の兩側にかけて黒條あり。

Length including tegmina 4mm.

Loc. Taihoku, Formosa.

Type No. 240.

29 *Moomia guttulinervis* sp. nov. フチニヤクヅキンヨコムシ (Plate 15, fig. 27)

(♂) 體、翅共に暗褐色、點刻を密布す。

頭部は幅廣く、複眼は大形、著しく凸出す。前頭の中央部（額頂を含む）は大きく凹陥し、背面より見る時は剝られたるが如き觀あり。複眼は暗色、頭頂は淡黃褐色、複眼間に大なる黒紋四個を横列す。前縁は額頂を除き黒色なり。

前胸背の中央部には暗黒色の點刻を密布し、前縁、前半部に於ける中央の縦條、後半部に散在する小斑點等は黃白色、後縁は中央部へ形に剝らる。

稜狀部は前胸背の $\frac{2}{3}$ に等しき長さをも有し、頂角は約 $78^\circ$ あり。横溝の前側に接する部分は褐色なり。

前翅の前縁は黃白色、翅脈は明瞭にして、その上に白點を粗に裝ふ。

體下は黃白色、額及び頬片上には暗褐色の點刻を裝ふ。頬片は甚だしく凸起す。肢及び口吻は黃褐色、胸板及び腹面は暗黒色、後者の各節の後縁は細く黃褐色、生殖板は黃褐色なり。

Length including tegmina 6mm.

Loc. Mt. Nōko, Formosa.

Type No. 241.

30 *Moonia lata* sp. nov. トノイロコロロコイ (Plate 15, fig. 28)

(♂) 體は一樣に褐色、粗大の點刻を裝ふ。

頭部は前胸背よりも幅廣く、前頭の中央は凹陥す。複眼は大形、頭頂の中央に黃褐色の縦條あり。

前胸背は頭部の中央に於ける長さの約三倍に等しく、前半部の兩側に一個の凹陥あり。

稜狀部は前胸背の半分の長さをも有し、後端の角度は $15^\circ$ に等し。

前翅は革質にして厚く、一樣に褐色、翅脈は隆起す。

體下及び肢は褐色、口吻は中基節の基部を僅かに越す。

Length including tegmina 7mm.

Loc. Karenko, Formosa.

Type No. 242.

てんぐすけば科 Family DICTYOPHALIDAE

31 *Dictyophala longirostris* sp. nov. タカサコテングスケバ (Plate 14, fig. 8)

(♂) 體は黄綠色、頭部は甚だ長く突出し、體の背面に對して $\frac{3}{2}$ の上反角を具ふ。その長さは頭部及び翅を除く體長の $\frac{2}{3}$ に等し。頭頂の兩側には顯著なる隆起線を具へ複眼間は橙赤色、その中央に一本の短かき綠色の縦隆起線あり、これは複眼の稍々前方に於て消失す。複眼は大形にして暗褐色なり。

前胸背は橙赤色、側縁及び三本の縦隆起線は綠色なり。兩側の縦隆起線は八字形を呈す。中胸背は前胸背の約二倍半に等しく、中央に殆ど並行せる縦隆起線を裝ふ。

翅は透明、翅脈は暗褐色、横脈の兩側及び大なる縁紋は暗褐色なり。

體下及び肢は淡黄綠色、額及び前胸下は橙赤色、額の中央及び兩側の隆起線、前胸側板の隆起線等は綠色なり。口吻は後基節を少しく過ぐ。

Length including cephalic process and tegmina 15mm.

Loc. Kuraru, Formosa.

Type No. 243.

32 *Centromeria formosana* sp. nov. タイワンテングスケバモドキ (Plate 14, fig. 6)

(♂) 大形の種類なり。體は橙綠色、隆起部(縦隆起線、其の他)は綠色(乾燥標本に據る)。頭部は前方に突出し、頭頂の長さは複眼間の幅の約 $\frac{2}{5}$ 倍、複眼の内側に先端に向ふもの、及び中央を走る三條の縦隆起線を具ふ。複眼は暗色なり。

前胸背の中央に於ける長さは複眼間の幅に略々等しく、後縁の中央に於ける角度は約100°なり。

中胸背は頭長の約1.5倍に等しく、中央に三本の縦隆起線を具ふ。この内兩側のものは互に前方に於て接近す。中央の一本は末端の附近に於て不明瞭となる。後端に於ける角度は約60°なり。

腹部は稍々黄色を帯び、頭部の先端より後胸部の末端に至る長さの1.5倍よりも僅かに短かし。

翅は透明、翅脈は綠色、縁紋は淡綠色にしてその部分に四本の横脈を具ふ。

體下は一様に黄綠色、額は幅の約 $\frac{1}{2}$ 、中央に先端に於て相合する三條の縦隆起線を具ふ。額片は額の約 $\frac{3}{2}$ に等しく、口吻は第三腹節の後縁に達す。

Length excluding tegmina 12mm, exp. tegmina 28mm.

Loc. Naifunpo, Formosa.

Type No. 244.

### まねうんか科 Family ISSIDAE

33 *Geryillus lineatus* sp. nov. クロスヂマルウンカ (Plate 14, fig. 4)

(♂) 複眼は淡黄褐色、頭部は淡きクリーム色、前頭は黒褐色。

前胸背は黒褐色、前縁及び後縁は細く褐色。

稜状部は淡きクリーム色、前縁角は暗色なり。

翅鞘は黒褐色、淺き點刻を密布し、寫眞に示す如き淡きクリーム色の斑紋を裝ふ。翅鞘の基半部に於ける斑紋は黄褐色を帯ぶ。

體下及び肢は黄褐色、額の先端は黒褐色、中央に幅廣き一本の太き白色横線を具へ、その線の兩側は黄褐色なり。

Length including elytra 5.5mm, width 4.5mm.

Loc. Mt. Taiko, Formosa.

Type No. 245.

16 *Sarima versicolor* sp. nov. アナクサビウンカ (Plate 14, fig. 9)

(♂) 體、翅共に淡綠色、斑紋を缺く。

複眼は淡褐色、頭頂は平坦にして僅かに窪み、中央に不明瞭なる一本の縦隆起線を具ふ。中央に於ける長さは複眼間の幅の半分と略々等し。

前胸背の兩側は鋭く尖り、後縁は一直線、前縁はは略々1/2に突出す。隆起線は周縁に低きものを有するのみにして、中央は平坦なり。

稜状部は前胸背よりも僅かに長く、中央に「小」字型を呈する低き縦隆起線あり。

前翅は最大幅の約1/2に等しく、翅は明瞭なり。

體下は淡黄綠色(生時は淡綠色なるべし)、額上に大なる環状の隆起線を具へ、その中央に一本の縦隆起線あり、額片上にはこれを缺く。口吻は短かく、後基節に達せず。

肢は短かく、淡黄綠色を呈す。

Length including tegmina 6mm, width 3mm.

Loc. Koshun, Formosa.

Type No. 246.

85 *Pteritia formosana* sp. nov. タイワンカタビロクサビウンカ (Plate 14, fig. 3)

(♂) 複眼は暗褐色、著しく突出す。頭頂は淡灰黄色、縦に深く凹陷し、後縁に近く二個の暗色紋を横列す。側縁は著しく突起し、側面より見る時は複眼よりも高し。

前胸背は暗灰黄色、不明瞭なる暗色紋を装ふ。その後縁は略々一直線、中央に於ける長さは頭頂と略々等長なり。稜状部は黒褐色、側縁(細く)及び三本の縦隆起線は灰白色なり。

前翅は淡灰黄色、外片上の翅脈は綠色、内片に於ては地色と同色、内片の後縁に接する大なる三角紋、外片上の不規則なる斑紋等は黒褐色なり。

體下は橙黄色、類、の大部分、類片の縦紋、肢の横帯並に腹面の中央を縦走する幅廣き縦紋は黒褐色なり。

Length including tegmina 8mm., width 4mm.

Loc. Karenko, Formosa.

Type No. 247.

36 *Tonga botdensis* sp. nov. ロウトウホボンチロキ (Plate 14, Fig. 11)

(♂) ホボンチロキ (*Tonga fusiformis* Walker) に比して小、頭部短かし。

體色は生時鮮綠色なれども乾燥標本にては黄褐色に變じたるを以て、色彩は記載せず。

複眼は暗褐色、頭長は複眼間の幅の二倍に等し。側縁は隆起し、先端に於て相合すれども中央は僅かに高まるのみにて隆起線を缺く。

前胸背は中央に於て頭長の約 $\frac{2}{3}$ に等しき長さを有し、複眼の後側は深く割られ、後縁は緩く弧狀に後方に彎曲す。中央の稍々後方に寄つて二個の小凹點あり。

稜状部は前胸背と略々等長、兩側及び後端は鋭く尖る。隆起線を缺く。

前翅は革質にして厚く、後縁は一直線、後縁角は  $67^{\circ}$  あり。

額頂は黒色、額の中央より額片上を走る顯著なる縦隆起線あり。額上に於ては更にその兩側に細き隆起線を具ふ。これは先端に於て互に相合し、後端は内側に彎曲す。額片と額とは大體等長なり。

Length including tegmina 12.5mm.

Loc. Botel Tobago (Kotosho), Formosa.

Type No. 248.

Genus MUSHYA nov.

頭部は大形、前胸部よりも幅廣し。複眼は甚だ大形にして突出し、頭頂 (Vertex) は平坦、前縁は截斷狀を呈す。

前胸背は頭頂よりも僅かに長く、平坦にして中央に互に接近する三條の縦隆起線を具ふ、その兩側のものは  $\backslash$  形を呈す。中胸背は前胸背よりも僅かに長く、三條の縦隆起線を具ふ。その兩側のものは前と反對に稍  $\circ$  形を呈し、内方に彎曲す。その二縦條の後端間に一本の凹線を具ふ。

前翅は革質にして短かく、腹部の中央に達す。翅脈は不明瞭なれども前縁脈 (C) 及び臀脈 (A) は顯著なり。

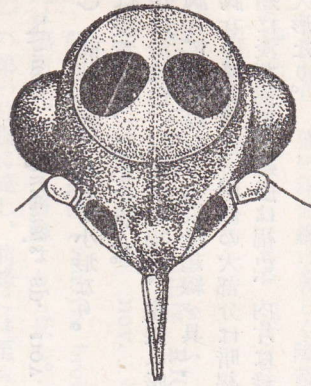
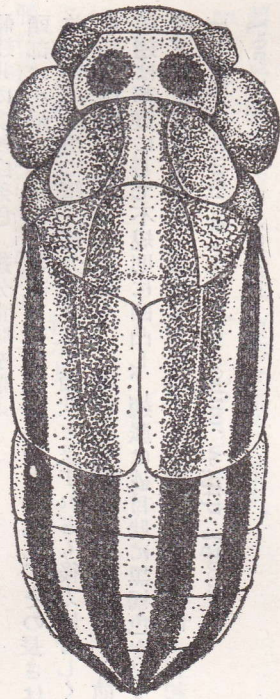
額並に額片は著しく膨大し、兩者の境界は不明瞭なり。額の中央に一本の細き縦隆起線を具ふ、額頂に大なる環狀の隆起線を具ふ。

口吻は短かく、後基節に達せず、上唇 (labrum) は長し。

Genotype: *Mushya quadrivittata* sp. nov.

Distribution: Only known from Formosa.

37 *Mushya quadrivittata* sp. nov. ♀ (Plate 14, fig. 15 a d text figs.)



*Mushya quadrivittata*

gen. et sp. nov.

(左) 背面圖

(右) 頭部正面圖

(M. KATO del.)

(♂) 體はクリーム色、複眼、頭頂の二紋等は黒褐色。

前胸背より翅鞘にかけて連続する幅廣き暗褐色あり。中胸背の兩側に存する縦隆起線の外方には多數の細かき顆粒突起あり。

腹部には縦走する四本の太き黒褐色あり、この外側のもは前翅の兩側に存するものに連続す。

體下は暗黄褐色、額頂に横列する二個の圓紋並に頬片上の大なる一紋は黒褐色なり。額頂の環狀隆起線の外側並に頬片上は暗色を帶ぶ。胸側板並に腹部の兩側及び中央の幅廣き縦紋は黒褐色なり。後腿節の外側は暗色を帶ぶ。

Length 4mm.

Loc. Mt. Nōko, Formosa.

Type No. 249.

あざむしむし科 Family FLATIDAE

38 *Abraxis formosana* sp. nov.

キノカンハゴロモ

(Plate 14, fig. 16)

(♂) 大形、扁平、樹皮に類似するウンカなり。  
體翅共に淡き白茶色、幾分青味を帯ぶ。

頭部は小形、頭頂は平坦、前縁は抛物線狀に突出し、その長さは幅と略々等し。

前胸部は頭頂に續く部分細まりて頸狀を呈すれども後方は著しく擴がり、肩狀を呈す。

中胸背は頭部よりも位置高く、三本の不明瞭なる隆起線あり。前胸背と共に不規則なる黒褐紋を裝ふ。

前翅は革質にして不規則に凹凸し、翅脈は砂目狀に黒褐色を呈すれども然らざる部分もあり。

體下並に肢は暗褐色、額は殆ど平坦にして兩側に下方に向ふ突起あり。口吻は後基節の末端を遙かに過ぐ。

Length including tegmina 18mm. width 12mm.

Loc. Arisan, Formosa.

Type No. 250.

63 *Atracis koshunensis* sp. nov. ヒメキノカンハヒロキ (Plate 14, fig. 2)

(♂) 前種に類すれども小形なり。

體は淡黃褐色、綠色を帯ぶ。

頭頂は淡綠色、周縁は暗褐色。複眼は暗褐色。

前胸背には明瞭なる三縱隆起線を具へ、その中間は淡綠色、兩側は黃褐色なり。

中胸背は淡黃褐色、兩側の大部分は暗褐色、前縁に白色の二小紋を横列す。

前翅は淡黃褐色、翅脈は褐色、内片は綠色を帯ぶ。翅脈上には小なる瘤狀の隆起を散在するも、特に翅底に近く存する一個大形なり。

體下は淡褐色、額の兩側縁は著しく隆起し、口吻は後基節の基部に接す。

Length including tegmina 12mm, width 7mm.

Loc. Koshun, Formosa.

ぐいじんせうも科 Family RICANIIDAE

40 *Pochazia facialis* sp. nov. シロオビハチロキ (Plate 14, fig. 13)

(♂) 體、翅共に焦茶色 (vandyke brown)、胸背には光澤を缺くも (隆起線には光澤あり)、頭頂は滑澤なり。

前翅は幅廣く、外縁は後縁よりも長し。これ *Pochazia* 屬の特徴なり。後縁の中央より前縁に向ふ白帯あり、これは中脈 (M) の第一分脈に達し、前縁には至らず。此白帯を延長して前縁に達せる處に楔形の白紋を具へ、その外方に暗色の圓を一紋あり。

體下並に肢は一樣に淡褐色、腹部は暗色を帶ぶ。

Length including tegmina 10mm.

Loc. Taihoku, Formosa.

Type No. 252.

41 *Ricania quadrinaculata* sp. nov. オホシラホシハチロキ (Plate 14, fig. 5)

(♂) 本邦産本屬中最大なる種なり。

體は黒褐色、頭頂に光澤あり。

前翅は焦茶色、翅の中央に一個、前縁の外方約  $\frac{1}{3}$  の處に一個、外縁に二個 (但し後縁に近き一個は外縁に接す)、都合四個の幾分褐色を帶びたる白紋あり。翅端に存する一紋は細長く、外縁に接せず。後翅は暗色、半透明なり。

體下は暗褐色、肢並に額は淡褐色。

Length excluding tegmina 11mm, exp. tegmina 36mm.

Loc. Shinhiku, Formosa.

Type No. 253.

こがしろうんか科 Family ACHILIDAE

42 *Bolysthenes guttatus* sp. nov. ムンダラコガシラウンカ (Plate 14, fig. 14)

(20) 體は褐色、稍光澤あり。

頭部は小形、複眼は暗色、頭頂は幅廣く、長さの約五倍、淡黄褐色、複眼よりも高位置にあり。前頭は深く剝らる。

前胸背は細く、淡黄褐色。

中胸背は褐色、光澤あり。縦隆起線は不明瞭なり。

前翅は淡きクリーム色、翅脈は同色、不規則なる數個の暗色紋を具ふ。後翅は前翅と殆ど同色、翅脈は暗褐色、翅端及び第一横脈上に暗色紋あり。

體下は淡黄褐色、肢及び口吻の末端は暗色を帯ぶ。額の側縁は著く突出し、中央は縦に深く剝らる。口吻は甚だ長く殆ど腹部の中央に達す。

Length excluding tegmina 4.5mm, exp. tegmina 16mm.

Loc. Karapin, Formosa.

Type No. 254.

ぐんばいろうんか科 Family TROPIDUCHIDAE

ぐんばいろうんか科 Family TROPIDUCHIDAE

43 *Stacotoides formosana* sp. nov. コガシラゲンムイウンカ (Plate 14, fig. 10)

(♀) 頭部は小形、複眼は褐色、頭部は前方に突出し、その側縁は並行す、前縁は幾分圓し。長さは幅の約1.5あり。頭頂は淡褐色突出部の兩側に暗色紋を具ふ。

前胸は小形にして、頭部との接合部は幾分縊れ、頸状を呈す。

中胸背は淡黄褐色、膨起し、中央に三條の縦隆起線あり、これは前端に於て互に接合す。

腹部は第二節以下綠色、胸部の長さよりも短かし。

翅は透明、翅脈は暗色、著しく隆起す。

體下及び肢は淡黄褐色、爪は暗褐色なり。

Length excluding tegmina 3mm, exp. tegmina 11mm.

*Loc.* Shinten, formosa. コモチシダに寄生す。

*Type* No. 255.

44 *Stacotoides zanata* sp. nov. オビコガシラゲンムイウンカ (Plate 14, fig. 1)

(♂) 前種に類にすれども次の如き相違の點あり。

1 一様に淡黄褐色。

2 頭部の前端は尖り、黒褐色の二縦紋あり、これは頭頂の畧々中央に達す。

3 前翅の中央に不明瞭なる横帯あり。

4 腹背は淡黄褐色にして綠色を帯びず。

Length excluding tegmina 4mm, including tegmina 6mm.

Loc. Shintzen, Formosa.

Type No. 256.

45 *Stacoides basifusca* sp. nov. ネグロガミランハイウンカ (Plate 14, fig. 7)

(♂) *S. formosana* と異なる處次の如し

1 頭長は幅の一倍より少しく長く、前縁に近く二個の不明瞭なる暗色紋あり。

2 前翅底に暗褐色の一紋あり。

Length excluding Tegmina 3mm, including tegmina 5mm.

Loc. Mt. Taiko, Formosa.

Type No. 257.

うんか科 Family DELPHACIDAE

46 *Terachiana nigripennis* sp. nov. クロンネテラウチウンカ (Plate 14, fig. 12)

(♂) 體は光澤ある黒褐色、頭部は著しく前方に延長し、その長さは複眼間の幅の約5倍あり。

前胸背及び中胸背上に三本宛の縦隆起線あり是等は灰白色を呈す。

前翅は不透明にして、内片の末端に近く、及び前縁の外側近くに乳白色半透明の一紋を裝ふ。後者は大形にして、その

中に細き二條の黒褐色横帯あり。

體下は黒褐色、額並に肢は淡黄白色、額の中央は縦に深く凹陷し、その中に細き縦隆起線を具ふ。

Length including tegmina 7mm,

*Loe. Kakiomura, Kanagawaken. (col. S. Nakayama) ; Yoyogi, Tokyo (col. M. Kato)*  
*Type No. 258.*

本屬は外觀テングスケバ類に似るも、後脛節端に可動性の距を有することに依り區別す。本種は東京附近に産するものなり。近似の一種 *T. signularis* Mats. (テラウチウンカ) は朝鮮産として知られたるも、これは東京に比較的多く獲らる。以上記載せる全種類は拙著分類原色日本昆蟲圖鑑第四輯 (VI, 1933) に收録せり。